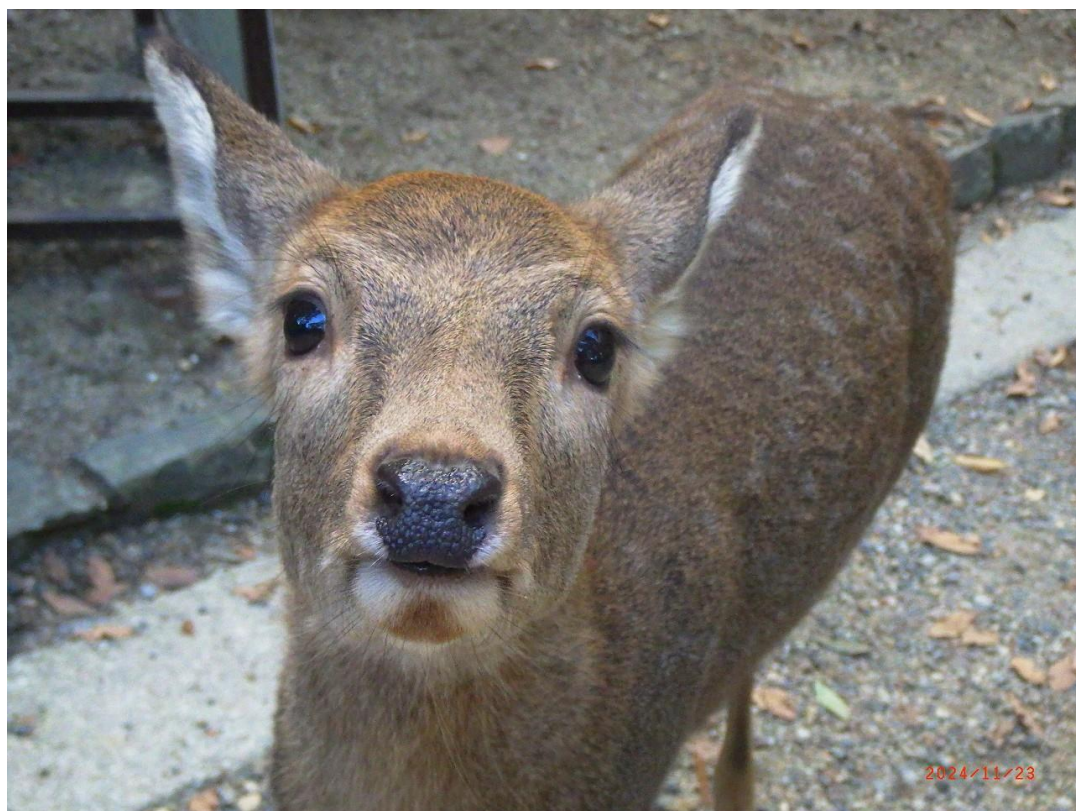


ぶな

2026年1月号

NO.562



滋賀県勤労者山岳連盟 比良雪稜会

やりたいこと・目標に向かって今踏み出そう！

N 村 T 行

新年おめでとうございます。

思いもよらない痛〜い年末年始を迎える羽目になった。昨 12 月 9 日、交通事故(車同士)に遭って救急搬送された。

自宅すぐ近くの交差点で右から来た一旦停止無視の車に衝突され、10m 位跳ね飛ばされた。胸骨にヒビと肋骨骨折で入院となる。しかし治療は特になく、痛み止めの薬を飲んで安静にするだけなので、12 日には退院させられた。

日にち薬なので おそらく 3 ヶ月位は何も運動出来そうにない。

病気・事故・ケガ等、人生 突然何が起こるか分からない。自分だけでなく、家族に何かあっても、然りである。

元気な今、動ける今、悔いを残さないよう、やりたいこと・目標があれば先延ばしせず、行動に移そう。一步踏み出そう。と自分に言い聞かせている。

春頃までは神様がくれた特別休暇と捉え、その頃になれば、多分傷は癒え、痛みも消えるだろう。

幸いにも今のところ、手・足・口は動くし内臓も大丈夫そうだ。体力づくりは 一からになるが、夏から秋は山・マラソンを大いに楽しめると期待している。

昨年 of 巻頭言で触れた“ぶらり比良山行”は全然できなかったが、妙高山は登れた。マラソンの方は 3 月のびわ湖と 11 月の福知山マラソンを何とか走れて、“喜寿でフル完走！が達成出来た。

そうなると欲が出るもので、今年のびわ湖マラソンは無理となったが、秋にどこかのマラソンを走り、そして来年のびわ湖では仲間と一緒に走り、秘かに 78 オフル完走を狙っている。応援の皆さん共々あの感動を味わいたいと願っている。

当会は 3 年後の 2029 年 1 月に創立 50 周年を迎える。半世紀というのは なかなか重い。創立メンバーの一人である私としては特に感慨深い。それにふさわしい事業・活動を取り組みたい。この 1 年で皆さんと共にじっくり考えたい。

10 周年以来、10 年毎の周年に記念誌「雪稜」も発刊してきた。50 周年には「雪稜 V」をぜひ発刊したいと思っている。

<目 次>

「巻頭言」	1
「目 次」	2
【例会山行案内】	
筆捨山(1月18日)	3
馬山と朝熊ヶ岳(1月25日)	4
平城宮跡(2月1日)	5
高見山(2月8日)	6
【例会山行報告】	
額井岳(11月23日)	7
小野村割岳(11月30日)	9
大仏鉄道跡(12月6日)	11
菊水山(12月7日)	13
忘年山行 若山(12月13日)	15
【全国登山研究集会参加報告】	17
【忘年会報告】	19
【2026年近況と抱負】	22
【定例会報告】	
・第9回運営委員会(12月9日)	29
2026年1月予定表	32

＝ 表紙の写真 ＝

『今年は鹿年やった?』(山の辺の道)

撮影 T中T彦

《例会山行案内》

筆捨山

狩野法眼元信が奇岩の山を描き切れず筆を捨てたとされる筆捨山と全山が奇岩怪山で郵便切手の絵柄にもなった羽黒山に登ります。

雪が積もることがなく冬にも登れる低山です。

日時 2026 年 1 月 18 日(日)

集合場所 山科駅 7 時 38 分発快速米原行に乗車してください

コース

JR 山科駅 7:38＝関駅 9:30～筆捨山登山口 10:10～筆捨山 11:35～羽黒山分岐～羽黒山 13:15～関駅 15:05(解散)

(かえり) 関駅発 15:21 か 16:18

持ち物 飲み物、昼食、非常食、地図、磁石、雨具、ヘッドライト、その他日帰り装備

申し込み先 H 島

締め切り 1 月 12 日(月)

〈例会山行案内〉

干支の山 馬山 (199M) と朝熊ヶ岳 (555M)

今年の干支の山の一つである三重の「馬山」(マヤマ)に登りませんか。
名神栗東から新名神、伊勢道を経由して玉城 IC を下車、サニーロードで愛州の館(五ヶ所城址)へ駐車。そこから馬山へ。五ヶ所湾の展望が楽しめます。
愛州の館へ戻り昼食後、帰路に伊勢神宮を守る山と云われる朝熊ヶ岳(アサマ)へ寄り道します。駐車場がかなり高所にあるのでここも短時間で登れそうです。

日時 2025 年 1 月 2 5 日 (日)

集合 和邇川河川敷駐車場 6 時

行程 和邇川河川敷 6:00～栗東 IC～新名神～伊勢道～玉城 IC～愛州の館 8:50
(土山 SA トレ休憩) タマキ アイス

愛州の館～馬山～愛州の館(昼食) 朝熊ヶ岳駐車場～朝熊ヶ岳～駐車場

9:00 10:10 11:10 13:00 14:00 15:00

(帰路) 駐車場 15:15～和邇川河川敷駐車場 18:00 頃

レベル 体力★★ 技術★★

累積標高差：どちらも 200m 前後

装備 昼食・飲み物・非常食・地図・磁石・雨具・防寒具・ヘッドランプなど
通常の日帰り装備一式

担当・申込 N 尾

申込締切 1 月 1 9 日 (月)

雨天中止 天気予報が悪ければ中止にします。

中止の場合は前日 24 日午後 1 時までにメールで連絡します

《例会案内》

平城宮跡・古墳・御陵

起点からウワナベ古墳までは交通量が多いので、注意しながら歩きましょう。不退寺を経て、ウワナベ古墳からは終始奈良の史跡・社寺を結ぶ遊歩道”歴史の道”をてくてくと。大小の古墳、陪冢(ちょう)を経て中盤にさしかかる辺りに平城宮跡が広がります。平城宮跡の復元された建物・庭園を見て、さらに先へ進み、全長 200m を越す前方後円墳群をめぐって、天平の香りを漂わせてたたずむ秋篠寺へ。コース終着点は、春と秋に催される大茶盛式が有名な西大寺。広い境内をじっくりと鑑賞します。多くの史跡が点在するこのコースは、考古学ファンならずとも、万葉ロマンをかきたてられる趣のある道程となっています。

日時 2026年2月 1 日(日)

集合 近鉄京都駅改札前 8 時 20 分

行程 京都 8:26+++9:05 大和西大寺 9:13+++9:16 新大宮

新大宮駅～不退寺(業平寺)～うわなべ・こなべ古墳～磐之媛陵～平成天皇陵～平城宮跡(東院庭園～朱雀門～大極殿(昼食)～遺構展示館)～日葉酢媛陵～成務天皇陵～神功皇后陵～秋篠寺～西大寺～近鉄大和西大寺駅(15時頃)

近鉄大和西大寺+++京都(16 時頃)

距離 13km 時間 5.5 時間(含休憩)

レベル ★☆☆☆☆ 技術 ★☆☆☆☆

装備 昼食・飲料水・雨具・行動食・地図・磁石・ヘッドランプ・その他日帰り装備

担当・申込 I 井

締切日 1 月 26 日(月)

中止する場合は、前日1月 31 日の12 時までにメールにて連絡します。

《例会山行案内》

高見山

高見山は美しい三角形の山容で、関西のマッターホルンと称されています。山頂からの展望は見事で、台高山脈の雄大な山並みや曾爾の山々を遠望できます。榛原駅からの霧氷バスに乗って出かけませんか。

日時 2026 年 2 月 8 日(日)

集合場所 近鉄京都駅 6:25

コース

近鉄京都駅 6:33＝近鉄榛原駅(南口)8:15 発＝高見登山口 8:53 着(奈良交通)
高見山登山口 9:00～小峠 10:30～杉谷平野分岐 11:00～高見山 12:15～杉谷平野分岐
13:40～たかすみ温泉 15:30

(かえり) たかすみ温泉 16:00 発の霧氷バスに乗車(解散)

持ち物 飲み物、昼食、非常食、地図、磁石、雨具、ヘッドライト、入浴セット、アイゼンその他
冬山装備

申し込み先 H 島

締め切り 1月6日(火)

一か月前よりの霧氷バス予約が必要なため(予約取消は前日 16 時まで可能です)

霧氷バス 往復 2,600 円 当日現地にて「交通系 IC カード」または「現金」で支払い

〈例会山行報告〉

額井岳(812m)

日 程：2025 年 11 月 23 日(日)

参加者：I 井(CL)、N 尾(SL 写真)、K 藤(救急)、H 浦、S 水、T 中利、I 瀬(体験)、N 村友(記録) 8 名

行 程：集合 近鉄京都駅 8:00 8:11 乗車=9:12 大和八木 9:31=9:46 榛原 9:53
(バス)=10:01 天満台東 2 丁目 10:07~10:25 十八神社~11:30 額井岳~12:00
サガヒラ山(昼食)12:40~13:05 戒場峠~13:30 戒場山~14:00 戒長寺~14:35
山部赤人の墓~15:05 天満台東 3 丁目着

近鉄京都駅に 9 人集合したが、8 人で出発することになった。参加予定の Y 崎さんは足がだるいが、大丈夫だろうと集合したものの、無理をせず山行を取りやめた。I 瀬さんが体験参加をしてくださった。入会してくださるとうれしいです。登山口まで乗り換えが多い。下車駅、乗り換えホームに注意しながら、榛原駅へ。榛原駅ではバスの乗り換え時間が短く、バスに乗り込むと直ちに発車した。

雲一つない良いお天気で暖かい。歩き始めると暑いぐらいでした。十八神社から見える山並みがとてもきれいだった。額井岳の登りは急登、下りは激下りで、落ち葉も積もっていて歩きづらかった。額井岳・サガヒラ山・戒場山の山頂は木々に囲まれ、眺望がない。戒長寺には、30m ほどのお葉つきイチョウ(天然記念物)があって、境内一面が黄色い絨毯になっていた。イチョウの葉はかなり落ちていたけれど、黄色い絨毯、最高でした。山部赤人の墓と伝わる五輪塔は大事に守られているようで立派だった。その後、糸井さんの「15:15 発のバスに間に合うかも！」のひと言とバス停までの道案内のおかげで、余裕で間に合い、バスに乗った。今回も楽しい山行でした。

＜一口感想＞

バス停からしばらく歩くと紅葉の綺麗な大和富士と言われる額井岳が目の前に。結構な急登です(笑)。あまり展望も無くお喋りだけが進みましたが戒長寺、大銀杏の大きさと素晴らしい黄色の絨毯に感激！

集合場所に来ながらも脚の不良でそのまま帰られた山崎さんは残念でしたが、体験で来られた岩瀬さんは楽しんでもらえたようで良かったです。

H 浦



額井岳



額井岳山頂

<例会山行報告>

京都北山 小野村割岳

日 時：2005年11月30日（日曜日）

参加者：CL K 藤 H ろみ SL N 村 Y 妃子 N 村 H 子 F 川 T 郎 N 尾 Y 一
F 野 K 太郎（記録）

コース：和邇川河川敷集合 7:00＝佐々里峠 8:30－雷杉－11:42 小野村割岳
－15:15 佐々里峠＝16:50 和邇川河川敷

午前7時前全員集合。気温3℃で寒い。天候晴れ、山へ行くには絶好の天気。

駐車場のある佐々里峠までは、葛川梅の木を折れ久田を歩いていくルートもあるが、今回は京都大原手前を右折し花背峠を経て477号線から峠に向かう道を進んだ。この道はいくつかの山を越えていくため、一台の車が通れるくらいの細い道がありすれ違いには難儀しそうだった。でも今日は殆ど走っている車もなくスムーズに行けた。途中手入れされた綺麗な北山杉の中を走った。また、美山には観光トイレがあり助かった。

予定通りに佐々里峠に到着。ここは既に728hある。小野村割岳は932hで標高差は200少ししかないが、稜線に出て10あまりのピークをアップダウンしていかねばならない。

準備を整え出発。いきおい5mほどのはしごを登らねばならない急坂が現れた。これを登り30分ほど歩くと稜線にでた。ここからはアップダウンを繰り返し小野村割岳に向かう。ここでは秋の終わりでコースにはどこも落ち葉の絨毯、サクサクと音を立てて歩くのは気持ちがいい。でも滑り易い所があり注意が必要でした。ルートは落ち葉でおおわれているせいか殆ど分からず稜線伝いに道らしきものを探しながら進んだ。

ここは巨木の杉で有名なところで所々に何百年も過ぎたであろう巨木が現れた。

10:05 雷杉に到着。杉の中が今でも焦げただれた様子がうかがわれ雷の脅威を思わせる木である。ここで記念撮影と小休止。

11:05 911のピークで一休み。

雷杉の前で

11:45 小野村割岳に到着。

12:15 30分の昼食休憩の後往路を引き返す。

12:45 911のピーク

15:15 峠の駐車場に無事帰ってきた。

復路は来た道を帰り16:50 河川敷に帰着。



【一口感想】

標高差が小さく、私でもついて行けると思い参加したが、10回ものピークがあり結構しんどかった。

しかし、次から次へと大銀杏が現れびっくりするとともに、楽しく歩くことができた。とわいえ、雷にやられたり、風にやられたりして途中で折れているものがほとんどで、数百年？も生き続けのは厳しいことも実感させられた。 F 川

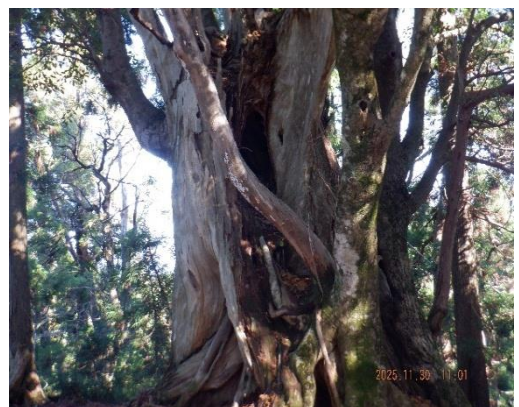
「好天氣に恵まれた小野村割岳の周辺には京都府の天然記念物に指定されている樹齢千年前後の伏条台杉の巨樹群落がありその迫力に圧倒されました」 N 尾

木々の葉はすでに落ち葉となった晩秋の山を歩きました、岩や根っこの上に厚く落ち葉が重なっているため思わぬ所で足を滑らせそうになることもありましたが危なそうな所では声をかけてくださったおかげで安全に歩けました。

御神木級の大杉やブナの大木を見ながら奥深い京都の山を楽しんで思い出深い一日になりました。 また、険しい道を運転して私達を連れて行ってくださった K 藤リーダー、N 尾さん 有難うございました。 N 村 H 子



小野村割岳山頂にて



杉の巨木

<例会山行報告>

大仏鉄道遺構めぐり

日 時 2025年12月 6 日(土) 晴れ

参加者 CL I井 SL T中利 K林(救急) Y崎 K嶋(写真) H浦 K藤 N村久
F川 S水(記録) 計 10 名

行 程 京都 9:36+++10:14 木津 10:28+++10:34 加茂

JR 加茂 10:40～ランプ小屋 10:45～観音寺橋台 11:45～鹿背山橋台 12:00～梶ヶ
谷隧道 12:10～赤橋 12:18～城山台公園(昼食)12:30～13:00 井関川橋梁跡 13:
20～松谷川隧道 13:50～鹿川隧道 14:10～黒髪山トンネル跡 15:05～大仏鉄道記
念公園 15:10～近鉄奈良駅 15:30
近鉄奈良+++京都

今回は大仏鉄道跡を遺構めぐりという事で、殆どが舗装路をウォーキング。『大仏鉄道』とは
今から 100 年以上前、加茂と奈良を結ぶわずか 9.9km の路線の愛称で営業期間も 9 年だっ
たとのこと。JR 加茂駅で遺跡めぐりマップを頂いてスタート。駅のすぐ横にランプ小屋。山小屋
の”ランプのお宿”みたいな感じかと思ったら、開業当初から残る油などを保管していたレンガ
造りの小屋で残念ながら中は見られず建物を見て次のスポット?へ。マップに次々と遺構が
紹介されているのでゲーム感覚?で進む。天気も良く寒さもなく気持ちのいいウォーキング。
田畑を抜け少し山道へ。観音寺橋台は高低差を緩和するために作られた石積みの橋台で JR
大和路線が並走されており電車と廃線を一緒に撮影できるスポットらしい。そんなにタイミング
よく電車が通るわけでもなく小橋台に行くと、なんと電車が…。思わず邪魔な柵が映らないよう
に取っ手のところから電車を撮影する写真担当さん。うまいこと電車は撮れたけどその前の橋
台と一緒に撮らんと意味ないやん。一同爆笑!和気あいあいと進み、梶ヶ谷隧道はレンガ積
みと石積みのコラボで作られており中を通ることができた。そんなに行動時間は長くないが、
お腹は正直なので大仏鉄道公園と呼ばれる城山台公園でまったりと昼食。これから先は舗装
路。交通量の多い賑やかな街並みを歩く。松谷川隧道への表示を見過ぎてしまい、少し戻
って関西鉄道の社章の模型前で記念撮影。そこから隧道へ降りていく。用水路として現在も
使われている鹿川隧道を見学して歩き続け、京都の木津川市から奈良市へ入る。じわじわし
た上り坂を越えてもうすぐ開催される奈良マラソンのグランド前で小休憩。ゴールは大仏鉄道
記念公園。大仏駅跡地に作られた公園で最後の集合写真を撮り、近鉄奈良駅までひたすら
歩く。距離 13km あまり。よく歩きました。

(S 水:記)

(一口感想)

大仏鉄道の痕跡を訪ねながら、楽しくおしゃべりしながらのウォーキングは最高でした。私にとっては忘年会を除いて今年最後の例会となりそうですが、来年の計画も何うことが出来て次への期待も高まりました。

N 村 H 子

今日は風も無く雲一つ無い青空。

リーダーより、山は登らないからスニーカーでいいよと言われレインウェア、ストックも家に置いて小さなリュック、遠足気分で加茂駅を出発。

機関車 C57 発見、写真撮って反対に回ればこっちが正面。あっ間違えた、なんか四角いなあと思った(笑)。

京都を歩いているのに何故か奈良っぽい。田園や里山の景色を堪能、まだまだ紅葉も綺麗で大満足な1日でした。

H 浦

2 年前の 9 月の鈴鹿釈迦ヶ岳以来、久しぶりの例会参加となりました。メンバーとは例会以外の会の催しで顔を合わせていたとはいえ、やっぱ例会で行動を共にするのは感じが違います！皆さんに気をつけていただきながら無事にゴール！舗装路とはいえ 13km も歩いたのは術後初めて！嬉しかったです。本当にありがとうございました。

K 嶋



関西鉄道社章



大仏鉄道記念公園

〈例会山行報告〉

六甲/菊水山

日時 ; 2025 年 12 月 7 日 (日)

参加者 ; CL N 尾・SL S 水・K 村・K 藤・G 阿弥・T 中利(記録)

行程 ; JR 山科駅⇒鶴越駅⇒石井ダム登山口⇒菊水ルンゼ入山口

⇒菊水ルンゼ南尾根⇒菊水山⇒鈴蘭台団地⇒妙号岩⇒鶴越駅

私にとっては久しぶりの六甲山です。古い話で恐縮ですが、いつもこのあたりに来ると、ここからもう少し西の方に「兵庫県立盲学校」という施設があって、そこに毎月 1 回、ボランティアで視覚に障害のある子どもたちにそろばんを教えに来ていた頃のことを思い出します。視覚障害の生徒たちが明るく、真摯に、一生懸命にそろばんに向かう姿を見ていると、いろいろと気付かされることが多く、今思うと、彼らとの触れ合いの中で、たくさんのことを学ばせて貰っていたような気がします。

本日は 6 時 35 分に山科駅に集合し、JR、地下鉄、神戸電鉄を乗り継ぎ、8 時 20 分に鶴越駅に到着、8 時 30 分に行動を開始しました。「12 月に入っても、まだまだ紅葉が楽しめるなあ」と思いながら、てくてく歩いて 9 時 15 分に石井ダムに到着。そして、そびえ立つ石井ダムの端っこに設置されている長い長い階段に取り付き、登るような感じで上がって行きます。登り切ると瀬戸内海までを一望できる素晴らしい光景が目に入ってきました。

10 時 15 分、今回の山行の目玉である破線ルートに入ります。登山道があるような無いようなところを、リーダーの N 尾さんに引っ張って貰うようについて行きます。

道が不明瞭なだけでなく、けっこうな急登でもありましたが、何とか 11 時には山頂に到着しました。さすがに六甲山です。一般道からはたくさんの登山者が登って来られており、山頂は賑やかな状況でした。

昼食後、鈴蘭台という大規模な住宅地まで、よく整備された道を下山します。鈴蘭台を抜け、再び登山道に入り、13 時に君影ロックガーデン見晴台という名前の通り見晴らしの良いところに到着。ここでは、たった今、登ってきた菊水山の全景を捉えることもできました。

また、しばらく歩いて 13 時 30 分に妙号岩というところの山頂 (or 岩頂) に到着。ここも神戸の街などが一望できる景色の良いところでした。

14 時 25 分、無事下山し、鶴越駅に到着しました。

(一口感想)

「久しぶりの六甲は、穏やかで紅葉がキラキラしていました。とても楽しい山行でした。六甲、また色々なコース歩いてみたいと思いました。」

K 村 A 子

菊水山山頂にて



〈山行報告〉

忘年山行 若山

日時 ; 2025 年 12 月 13 日 (土)

参加者 ; CL H 島・SL K 藤・I 井

コース : JR 島本駅 10:00～桜井駅跡～若山神社 10:41～若山 12:08～展望所～金龍寺跡
13:08～座禅石 13:18～白馬石 13:29～磐手橋バス停 13:50＝JR 高槻駅 14:05 (解散)



JR 島本駅東口を 3 人で 10 時に出発。駅前にある桜井駅跡史跡公園には楠公父子子別れの石像他多数の石碑が立てられている。公園を抜け JR 京都線の踏切を渡る。自家用車が閉まりかけた開閉バーに挟まれ動けなくなる事態に遭遇した。開閉バーを持ち上げ車が抜け出せるのに協力した。

若山神社の境内にはツブラジイの巨木が自生しており、幹回りが 2.5m を超える 42 本が大阪府天然記念物に指定されている。ツブラジイの木を見ながら本殿横から太閤道に入る。自然豊かな森を抜けゴルフ場のネット沿いに進むと尾根にでる。展望が開けると三河川合流 淀川・男山・宇治方面の大パノラマが望めた。

若山山頂・三角点に到着。集合写真を撮る。

山頂から 5 分ほど進んだ淀川が見下ろせる展望所で昼食休憩。北摂随一の絶景ポイントとされている。大阪市内のビル群・あべのハルカス・いきかう新幹線、青空の下贅

沢な時間を楽しんだ。

金龍寺跡では落ち葉のじゅうたん・最後の紅葉・やわらかい日差し・静寂を味わい、
磐手橋バス停に到着。バスに乗り高槻駅へ。高槻駅で 14：05 分解散した。

(記録：H 島)



<全国登山研究集会参加報告>

11月15日(土)～16日(日) 新大阪ユースホステルにて

滋賀県の参加者:オフトレイル2名(第2部科会 組織拡大・教育)、

滋賀山友会2名(第1分科会 筋トレ、第3分科会 自然保護)、

比良雪稜会1名(第3) 計5名

○基調講演

①「これからの登山」川嶋高志 全国連盟理事長

組織のありかたは、1. 社会に貢献する。2. 採算があうこと。の2点を挙げて説明された。登山・ハイキングが幸福な人生に貢献することを伝え、そのための環境整備をする。また、遭難対策基金の歴史と運動を報告し、基金が単なる保険ではなく仲間相互の助け合いによる制度である。採算については、資産を確保し、事務所を維持していく。資産保全を兼ねた事務所の土地・建物を所有することができた。

完全に法人化し、有価証券等を法人所有して安定した財政を目指す。

②「登山寿命を伸ばす為の考え方と実際」石川昌 全国連盟副理事長・遭難対策部長

登山寿命を伸ばすための3つのポイント、1. ゆっくり歩く。きつさを感じないように歩くこと。2. 月4回(1回±500m)に分け、合計±2000mの登山をする。一挙に±2000mを上がることは、体を壊す。3. 筋トレをする。体力最大の弱点は、筋力不足である。日頃より励行したい3種類の筋トレは、「スクワット」「上体起こし」「脚起こし」である。

○第3分科会「自然保護活動の推進について」(大規模開発の問題点)

1. 9月27日から28日に行われた全国自然保護講座 in 青森の総括を行った。「大型風力発電による自然破壊と健康被害」について、実際被害にあわれた方の報告と、記念講演では、北海道の状況が説明され、様々な環境被害が起きている事を知った。

2. 大峰山の弥山・明星ヶ岳周辺の自然林立ち枯れとその回復の変遷について、現地を映したスライドを見ながら説明があった。

3. 北陸新幹線の京都延伸問題について。残土・地下水問題等があり、地元自治体・京都仏教会・京都市民などの多数が反対している。

4. 埼玉県連の自然保護活動は、主に登山道整備についての登山団体の役割について述べられた。

5. 奈良県二上山の産業廃棄物問題は、産業廃棄物の中間施設が設置され、盛土による土砂の問題、竹田川への汚水の流出が報告された。

6. 神戸市では、六甲山系・摩耶山の新ロープウェイ建設計画がある。既にケーブルカーやロープウェイが設置されている、計画ルートに国立公園第1種特別地域がある等、建設には問題があり、神戸市民に発信していきたいとの報告があった。

各地でいろいろな問題がありそれぞれ活動されているのを知り、すごいと思った。
自分のできる事はたかが知れているが、署名や広報等で手伝えたらと思う。

※第1分科会「筋トレ」と第2分科会「組織拡大・教育」については、参加していませんので全国連の報告をご覧ください。

全国登山研究集会に初めて参加しましたが、自然保護関係でない方々とも交流ができて新しい情報が得られ、非常に有意義でした。せっかく近畿での開催でしたので、もっとたくさんの方に参加して頂きたかったです。

K 藤 H ろみ



忘年会報告

2025 年 12 月 13 日（土）18:00～20:30 和邇高城「お料理 ふじ」にて

参加者： N 村和、H 部美、K 保田、A 本、K 藤、H 島、I 村、N 尾、H 部史、K 林、H 野、F 川、O 村智、K 原、N 野、H 浦、I 井、S 水、加藤、N 村久、S 竹、T々納、I 瀬（入会予定）（計 23 名）

今年の忘年会は会員 22 名と入会予定の I 瀬 H 子さんを加えた 23 名の参加者で、「お料理 ふじ」に於いて開催されました。N 村会長は直前の交通事故により、また K 嶋リーダー部長も虫垂炎の為に残念ながら欠席になりました。K 藤ひろみさんの司会進行で、A 本副会長の開会の挨拶により忘年会が始まりました。A 本副会長より今年の 11 月に入会された T々納 Y りかさんと入会予定の I 瀬 H 子さんの紹介があり、それぞれ自己紹介されました。次いで、比良雪稜会を代表して N 尾 Y ーさんの乾杯の発声で宴会は始まりました。

N 野事務局長より本日差し入れのお酒の紹介を行いました。

しばらくは食事の時間で、皆さまビールやお酒を飲みながらお料理の豚しゃぶのお鍋を味わいつつ談笑されていました。それぞれにビールや日本酒を片手に移動して、今年一年の出来事や山談議に花を咲かせて、大いに盛り上がっていました。

次いで、いよいよお待ちかねの抽選会の始まりです。担当の H 島さん、H 野さん、K 藤さんから当選者の番号が次々と読み上げられて、会場の窓側に置かれた景品（N 村田んぼのコシヒカリ、A 本農園、H 部農園、O 村農園の野菜、皆様から寄贈された沢山の山グッズ、T シャツなどよりお気に入りの物を順番に頂きました。会員・会友の皆様、多くの景品のご提供有難うございました。

皆様と久しぶりに楽しくわいわいがやがやと過ごして来ました 2 時間余りの時間もあっという間に過ぎて、参加者全員による集合写真を K 原さんをお願いして撮影しました。最後に N 野事務局長より閉会の挨拶が行われて、一本締めで本日の比良雪稜会忘年会は無事に終了いたしました。ご協力頂きました運営委員の皆様方、ご参加頂きました会員の皆様方に御礼申し上げます。有難うございました。

（報告：N 野）



宴会風景



集合写真

2025 年 比良雪稜会忘年会景品等提供者一覧

(敬称略)

【差し入れ】

B 場 K 久雄 (元会員)	清酒大吟醸 連理	1.8L
N 野 T 光	清酒 松の花	1.8L
F 川 T 郎	清酒 賀茂泉	750mL
T 々 納 Y りか	清酒 天狗の舞	1.8L
N 尾 Y ー	カゴメフルーツジュース	24 缶

【景品の提供】

N 村 T 行	お米	1.5 k g × 6
A 本 K 和	野菜セット (大根・白菜・カブ) 3	
	ビールサーバー (背負い用)	
	ビールサーバー	
	ビールジョッキ (大) (中 × 2)	
F 川 T 郎	アウトドア用座布団	
H 部 F 男	野菜 2 (ネギ・ハウレン草・カブ・ヤーコン)	
O 村 M 夫	野菜 2 (ネギ・ハウレン草・大根・カブ)	
S 竹 T	ピッケル	
K 藤 H ろみ	地図 × 2	本 × 2
N 尾 Y ー	T シャツ × 5	
N 野 T 光	一人用テント一式、シュラフカバー	
K 嶋 F 男	山用フリースウェア × 3	
K 藤 F 三男	大津絵色紙 (鬼三味線)	
H 野 Y 治	ノースフェイスザック	
H 島 S	カリマーザック	
S T 三郎 (会友)	10 本爪アイゼン	
K 原 K 雄	歌謡 C D 7 枚入りセット	
I 井 T 雄	双眼鏡	
H 池 S 英子	ストック一式、空気入れ	
K 林 T 子	ステンレスマグカップ × 2	



2026 年近況と抱負



近況

- N 村 T 行 11/23 福知山マラソンを何とかギリギリ完走し、数日後 仲間が祝宴を催してくれ、ビールのなんとおいしいことか、生中を 2 杯も空けてしまいました！
ところが、12/9、幸せの絶頂からどん底に転落！ 交通事故(車同士)に遭い肋骨・胸骨の骨折・ヒビで救急搬送される羽目に。自宅すぐ近くの交差点で一旦停止無視の車に 10m 位跳ね飛ばされ、隣家の塀に激突。骨折なので治療は無く痛み止めの薬を飲むだけ。で、12/12 には退院させられ、自宅安静中。
- N 村 K 代 忙しく毎日を過ごしています。高行の交通事故、辛い歩けるし動ける。人生何が起こるか分からない。自分の不注意で無くても巻き込まれる事も。後半戦に入った人生、楽しく悔いの無いよう過ごしたいですね。
- Y 口 Y 生 よく、比叡山の本坂を、登っていたのですが、最近、熊が出るというニュースが多く、いけてません。マンダラ山歩きくらいです。
- F 野 K 太郎 今年はいろいろあって山歩きは出来ていませんでした。最近例会に出て歩かないと、との思いが強くなってきて、ぼちぼち参加しています。
- H 部 M 智恵 山には熊が出る！ 体力はおち、どこの山に行けばいいの？
ぼちぼち「大文字山」です。
- K 保田 E 理子 自分の体調は戻りつつありますが、父の介護で一日がほぼ終わります。いつまで続くやら…。介護初心者にしてはよくやっている方だと自分で自分を慰めています。
- A 本 K 和 今年は会の主要行事（春秋の公開野点山行、清掃登山、飲み水調査山行）以外は、数回の日帰り例会に参加したのみでした。体調はそんなに悪くないのですが、健診で胃カメラ、大腸カメラを初体験するなど、気分が滅入る事が続き、寄る年波を痛感する毎日です。
- K 藤 H ろみ 残念ながら、残りの滋賀の山は 1 山も登れず、夏山にも行けず、少し悲しい 1 年でした。
- H 島 S 6 回に分けてダイヤモンドトレイルを踏破しました。改めて体力の低下を実感しています。
- I 東 S 二 今年、五竜岳の企画は三回目でしたが、また行けませんでした。相当嫌

われているようです。しかし、行きたかった唐松岳～白馬岳、妙高山、猫又山を歩き、びわ湖マラソンと金沢マラソンを完走し、まずまずの年でした。

I 村 K 治 家族の事情でなかなか山に行けません。散歩やランニングしたりして体力維持に努めています。

N 尾 Y 一 夏には運よく北アルプス縦走ができました。

T 中 T 彦 たくさんの例会に参加させてもらっています。

H 部 F 男 夏山は「蝶ヶ岳」に挑戦、蝶ヶ岳ヒュッテで最高の生ビールを楽しめました。

最近クマの出ない近くのにぎやかな山へ行ってます。

K 林 T 子 スーパーの駐車場の車止めに躓いて派手に転び左膝と左手指を強打、骨は大丈夫でしたがしばらく安静にといわれ例会もキャンセル(>_<)。折れてなくてもこのざまです。焦って小走りしていたうえ足元の注意を怠り…と反省満タン。10歳上の夫に「年を考えなきゃ」といわれぐうの音も出ず(11月19日現在)

H 池 S 英子 11月下旬に大菩薩嶺と陣馬山、八王子城山に行ってきました。八王子城山では、予約なしでしたが、ボランティアガイドさんが私たち3人のために3時間ほど、みっちり案内してくださいました。時間に余裕のある旅を楽しんでいます。

H 野 Y 治 去年は山へは行けませんでした。免疫疾患の病気は飲み薬もなくなり、一旦卒業することとなりました。最近、心肺能力、耐力向上のため走っています。

F 川 T 郎 今年はいろいろと事情がありましたが、週4回の卓球と1or2回の曼荼羅山トレーニング、更に都合がつけば例会に参加をするようにしてきました。幸い良い仲間恵まれまあ、満足できる1年であったと思っています。卓球は若い人(70代前半)にどんどん追い越されていきますが……

O 村 M 夫 一年間 休養中 ごめんなさい。

O 村 T 恵子 ほとんど例会に、参加できてません。

G 阿弥 M 子 初めて山を歩いている時にカモシカに出会えました。やっと会えました。

K 嶋 F 男 2月に足首の手術を終え、普段の生活にはほとんど支障がない程度に回復しました。ただ、その手術前の検査で不整脈のひとつで心房細動が見つかり、今はそれの方が気になっています。

なので現在はゆっくりと行動時間4時間内くらいで低山をリハビリ登山

しています。

T 中 K 子 相変わらず少々膝痛いですが、2025 年も感動する山旅が沢山出来ました。

K 原 K 雄 秋口からランニングを再開したものの少しの距離で苦しくウォーキングになる。

内科、整形、歯科と診察券を増やしている。

老後生活いろいろあるが「今日も楽しく感謝」の気持ちで過ごしている。

N 野 T 光 1 月にニュージーランドにトレッキングに行き、3 月に銀杏峰と龍王山それから 4 月に春の公開野点山行に行って今年の山行は終了しました。5 月の連休中に背骨を圧迫骨折して 2 か月間入院・リハビリ生活をしました。まだ、腰と太もものシビレが続いている為、当分の間山登りは難しそうです。今年は大阪関西万博のボランティアに骨折前に 5 回、骨折後に山用ストックをついて 5 回参加しました。若い人達との交流楽しかったです。

H 浦 A 子 腱鞘炎や 50 肩など、色々と不都合はありますが運動は頑張ってます。

I 井 T 雄 ここ数年、歳を経るごとに体力の衰えを感じていましたが、特に去年は、年の後半から体力ががたと落ちた思いをしています。でも、もう少し頑張りたいと思っています。

S 水 M 子 日々、いろんなことで忙しい合間を縫って夏山例会で北アルプス縦走に 2 回行けたことがうれしかったです。四国にもデビューできたし、大峰の山にもちょこっと登れました。ランは全然走れてなくて 5 キロに 2 回出ただけ。

N 井 T 今年万博に酔いしれてました。行くは行くはで計 21 回来場しました。おかげ様で山としては、何時も小屋泊、テント泊を月 2、3 回夏山として例年楽しんでいたのですが時間が取れず、その後は熊騒動などで山シーズンは終わってしまいました。

健康維持の為登山をしているんですが、今年は家庭内で、芝犬を 5 ヶ月前から飼い始め、朝夕の散歩に行きつつランニングをして体を維持している毎日です。

K 藤 F 三男 長等山の毎日登山も今年で六年目に突入しました。日記代わりに

「YAMAP」に投稿していますが、タイトルを「毎日登山」から「気まぐれ登山」に変えてから随分、気持ちも楽になりました。別にペースを落とした訳ではありませんが、ほぼ毎日登り続けています。年内には 1650 回達成です。

お陰様で体力の維持にも繋がり、今年は「ツールドモンブラン」のトレッキング七日間を無事に踏破することができました。

K 村 A 子 今年の夏は、過去行った山を再び訪れる山行が多かったのですが、思い出と違う事が多く、逆に新鮮な体験となりました。

N 村 Y 妃子 低酸素トレーニングをはじめました。高山病予防のためですが、効果は試せていません。一回 30 分の運動ですが、15 分ぐらいで「まだあと 15 分もある～」と思いながらつづけています。

S 田 H 枝 急に寒くなり紅葉も予想以上にきれいなので近場の公園や湖岸辺りを散策ですが 体調崩し 家にこもり気味
高校時代の友人たちと韓国旅行に行けて楽しい時間を過ごした

O 野 T 広 今年は山スキーで腰を痛めたことから始まり、回復したと思った矢先に今度は膝に水が溜まるなど、散々なシーズンでした。

Y 崎 K 子 3 月からマラソン大会に出場する事を目標に練習を始めました。夏の暑さに負けモチベーションも下がり練習不足のまま大会に出場しましたが参加メダルをゲットできました。2 週間後の大会ではタイムを縮める事が出来た事で今年の目標達成できました。まだまだジョギング程度ですが一步踏み出せた事が嬉しいです。

N 村 H 子 仕事の時間が減り自分のための時間が少し取れるようになりました。
コロナ以来辞めていたジムにも通いだしたところです

S 竹 T 2025 年から、雪稜会に加入し、3 月 23 日の銀杏峰と 4 月 29 日の公開野点山行に参加させて頂きましたが、その他は、残念ながら参加出来ていません。実は、5 月から、日本語教師養成講座に通っており、現在は、日本語教師として資格を得るために、勉強中です。ただ、今月の日本語教員試験は、上手いかなかったのもので、また、来年、挑戦するつもりです。山の話とは、関係ない話で恐縮ですが、雪稜会の例会にも、出来るだけ参加したいと考えていますので、今後とも、宜しくお願いします。
3 月のびわ湖マラソンにも出走するつもりです。

T 々 納 Y りか 五十肩と診断されました（まだ四十代ですが）。痛みが強く、可動域がどんどん狭くなっており、ザックを背負う際にも工夫が必要です。インナーマッスルを鍛えるためにチューブトレーニングに励んでいます。

**** 抱負 ****

- NT 村高行 夏は北アか南アの稜線へ、秋は尾瀬を歩きたい。
3月のびわ湖マラソンは無理となり、秋にどこかのフルマラソンを走りたい。
- N 村 K 代 長年思いを馳せてきた秋の尾瀬、今年にはぜひ訪ねてみたい！
- Y 口 Y 生 例会に出来たら参加したいです。
- F 野 K 太郎 歳相応な山行を計画して、この夏はアルプスに行きたいと思っています。
- H 部美 M 智恵 夢は大きい方がいいので、北アルプスです？
- K 保田 E 理子 何とか山行に参加したいです。三上山には息切れしながら登っています。
- A 本 K 和 来年は傘寿（八十歳）の年。雪稜会入会して 20 年を迎えます。個人的には毎日の曼陀羅山は続け、体力維持に努め、例会にも沢山参加したいと思っていますが、年々皆さんのペースで登るのがしんどくなっています。（公開山行くらいのペースが丁度いいかな）
- K 藤 H ろみ 熊の心配のない九州の山、1 週間ぐらいかけて行きたい！！
どなたかご一緒しませんか？
- H 島 S 2026 年に 50 山、2027 年に 50 山、累計で 1000 山（ヤマップ）登頂を目指しています。
- I 東 S 二 N 村会長や K 小原さんを目標に、喜寿の年までフルマラソンを走れるよう、健康と安全に心掛けたい。具体的には、過度の飲酒を（極力少）なくする。来年は滋賀に戻る予定です。浦島太郎を、どうぞよろしくお願いします。
- I 村 K 治 例会には最低月 1 回は参加する。
戦争のない平和な世界を願って、引き続き活動はしたい。
- N 尾 Y 一 アルプス縦走ができたと思います。未踏の山やルートを歩きたい。
- T 中 T 彦 体のあちこちにガタがきていますが、山登りが続けられるように頑張ります。
- H 部 F 男 今年も北アルプスに行きた〜い？？ でも足がついて来てくれるかな
.....
- K 林 T 子 怪我をしない、そのためにもあわてない。行きたい山、行きたい場所に

行くことができる体調・体力の維持管理。夢は朝日小屋に泊っての縦走です。

H 池 S 英子 公共交通機関を駆使するのは大変ですが、繋げて「行ける」面白さがあります。来年も行けるところにのんびり行きたいと思っています。

H 野 Y 治 今年、60歳になります。第二の人生のスタートだと思っています。いろいろ始まります、頑張ります。

F 川 T 郎 続く1年も日帰り例会にはできるだけ参加を続けること、更に“近くの冬山に3、4回は登りたい”と思っています。

O 村 M 夫 皆さんに着いて行ける様に、頑張ります。

O 村 T 恵子 例会に参加して、北アルプスの登れる山あるかな？
何処か登りたい。

G 阿弥 M 子 忘れ物をしない！

K 嶋 F 男 早く例会に参加出来るように頑張っていきたいと思っています。
来夏には北アルプスにも復帰したいナ…！！

T 中 K 子 今年も元気に絶景を求め、山に行けますように…

K 原 K 雄 びわ湖マラソンにエントリーした。完走する自信はないがゴール目指し
楽しみたい。
何か面白いことにチャレンジしたいと思いつつそれが見つからない。今年こそ・・・！
久しぶりに夏山を歩きたい。

N 野 T 光 早く足腰の状態が良くなって、会員の皆様と一緒に山登りをしたいと思っています。その為に毎日家でリハビリを行って、また週に2-3回はトレーニングジムに通っています。もう一度、皆様と一緒に山登りが出来るように頑張りますので、その時はよろしくお願い致します。

H 浦 A 子 無理せずゆっくり山を楽しんで行きたいと思っています。

I 井 T 雄 今年山にも行きたいが、平地歩きをどんどん取り入れていきたいと思っています。歳相応に頑張りたいのでよろしくお願いします。

S 水 M 子 年々体力が落ちているを感じる今日この頃...ですが、まだまだ行きたいところがいっぱい！五竜にはぜひリベンジしたいです

N 井 T 今も現役！昼間は家業の仕事をし、朝夕は芝と散歩👣に行ってます。
来年はどうなるかな？

K 藤 F 三男 来年も引き続き、長等山毎日登山を目指します。回数を重ねることも目標の一つですが、健康で怪我をせず、毎日元気に山に登り続けられること

- 自体が一番喜ばしいことです。例会への参加は少ないですが、マイペースでコツコツ山登りを続けたいと思っています。
- K 村 A 子 もっと気軽に近くの山に行けたらと思っています。
- N 村 Y 妃子 怪我をしないよう注意して、楽しい登山をつづけたい。
- S 田 H 枝 山行は天気左右される為貴重な時間を楽しんでると感謝してましたが、近頃は熊の被害の情報が多く近場の山も簡単には行き難くなっているのが残念です
- O 野 T 広 来年こそは、しっかりと体のケアに意識を向け、万全の状態で楽しめるようにしたいです。
- Y 崎 K 子 ボートクラブに入会しました。琵琶湖の風を感じながら 11 月に開催される、かいつぶりレガッタにチームで出場して 3 位以内に入賞する事が目標です。山の方は、ぼちぼちでフラット登山をしたいと思っています。
- N 村 H 子 今年も雪稜会での山行を楽しみにしています。地図が読めるようになりたいです。
- S 竹 T 来年も、怪我無く、出来るだけ体力を維持し、精一杯、人生を楽しんでいきたいと思っています。また、皆さんとも、山行を通じて、今後とも楽しくお話しできればと思っています。
- T 々 納 Y りか 入会したばかりですので、皆さんとの山行を楽しみにしています。

2025 年度第 9 回 運営委員会報告書

日時：12 月 9 日(火) 19:00～20:30

場所：比良雪稜会事務所

出席：A 本、N 野、S 田（記録）、K 林、K 藤、H 島、K 藤、S 水、K 嶋、H 野

欠席：I 東、N 村高、N 村友、F 野

1. 第 47 回比良雪稜会定期総会の準備

1) 議案書の準備

議案書の割り振りとスケジュールを報告

担当ごとに報告書を作成（集約会議 第 1 回：1/13、第 2 回：1/27）

議案書は 2/10 の運営委員会で確認後、事務局 N 野よりメール配信。

2) 総会での議長・選挙管理委員の候補

事務局を中心に候補者選定。

2. 来期の役員案について

来年度の役員（雪稜会役員、県連理事）に関して、運営委員の意見を確認

次回の運営委員会で雪稜会役員および県連理事について確認する。

3. 清掃登山報告書 No.6 について（K 藤）

1) 経過の説明（来年 1 月にサンプル原稿を纏めて、3/1 に発行予定：第 1 回代表者会議）

2) 原稿の確認を運営委員で実施する予定であったが、まだ K 藤理事の方で進んでいない。その為、各年度で資料が残っているか調査する。来年 1 月中に T 永会長と K 藤理事・S 水理事で話し合っ纏める。2/10 の運営委員会で進行状況を確認する。

4. 忘年会に関して

1) 忘年会の実施方法

- ・11/11（火）の第 8 回運営委員会で開催を決めて、11/13（木）に会員にメールで案内
- ・日程は 12/13（土）で場所は「お料理 ふじ」、会費は 6,000 円、料理は豚しゃぶ

2) 実施内容

- ・司会進行：K 藤、会計：K 林、抽選会：K 嶋、H 野、H 島（野菜・米、登山用品、その他会員からの提供品）
- ・席順カード作成：A 本、マニュアル作成：N 野
- ・提供品は各自当日に会場に持参する。

5. 各担当より

- ・リーダー部(技術アップ) 比良雪稜会のFacebookとInstagramに、11/16、11/23、11/30 の例会 3 回分を投稿しました。I 東さんをお願いし、HP の左にリンク先を作って頂きました。
- ・自然保護 全国登山者研究会に出席し、ぶな 1 月号に報告書を掲載する。
為になる講演だったので、是非会員の方に参加してほしい。事務局から声かけをする。
- ・遭難対策、会計、機関誌、労山基金、HP、事務局は無し。

6. 県連報告 (K 藤)

1) 第 1 回代表者会議と第 9 回理事会(11/12)の議事録は県連ニュース 12 月号に掲載済

2) 第 1 回代表者会議の報告 (N 村高)

3) 第 9 回理事会

議題 1. 登山祭典の報告

議題 2. ファーストエイド講習会報告

- ・11/8 は 23 名参加、11/9 は 27 名参加、来年以降も継続して実施予定。

議題 3. 各部からの報告

- ・機関紙部 県連ニュース 12 月号 (11/15 〆切)
リレーエッセイ・写真 (オフトレイル)
2026 年度バリエーション初級登山教室募集案内
- ・財政部 滋賀民報新年号祝賀広告の送金

議題 4. その他

- ・海外登山を希望する会員が集まれる会を作りたい (T 谷内理事) からの提案
- ・第 50 回県連定期総会 3/8 (日) 大津市民活動センター 1F 大・小会議室
9:00~12:00: 読図講習会、13:00~16:00: 定期総会

次回 12 月は休会、第 14 回 ZOOM 理事会は 1/14（水）、第 15 回 ZOOM 理事会は 1/28（水）に実施します。

7. その他

- ・交通費は 35 円/km です。（12 月より変更）
- ・会員動向；現会員数 39 名。

★総会までのタイムスケジュール

1/13 第 10 回運営委員会 各担当者は素案のコピーを持ちより検討

1/27 第 11 回 運営委員会 26 日までに作成した修正原稿を事務局中野までメールで送る。まとめられた議案書(案)について原稿の最終チェックを行う

2/3 往復はがきによる総会出欠の確認

2/10 第 12 回運営委員会:確定議案書は事務局中野より全員にメール

2/15 第 47 回比良雪稜会定期総会

- ・和邇コミュニティーセンターにて、1/15（木）に総会の会議室の予約を事務局中野が行う。
- ・議長 選管委員を事務局より前もってお願いする。

次回の 2025 年度第 10 回運営委員会は 1 月 13 日（火）18:30～行います。



2026年1月予定表

1	祝 木	元日	19	月	
2	金		20	火	
3	土		21	水	
4	日		22	木	「ふな」原稿締切
5	月		23	金	
6	火	第6回リーダー部会	24	土	
7	水		25	日	例会山行 馬山(伊勢の干支の山)
8	木		26	月	
9	金		27	火	第11回運営委員会
10	土		28	水	
11	日		29	木	
12	祝 月	成人の日 例会山行 泉涌寺(七福神めぐり)	30	金	
13	火	第10回運営委員会	31	土	
14	水		編集後記		
15	木				
16	金				
17	土				
18	日	例会山行 筆捨山(鈴鹿山系)			
2月の予定					
1	日	例会山行 平城宮跡			
8	日	例会山行 高見山			
22	日	例会山行 奥島山～八幡山			
今月号と来月号の当番					



滋賀県勤労者山岳連盟

比 良 雪 稜 会

滋賀県大津市和邇今宿 712-1 西村方

TEL&FAX 077-594-0454

E-mail kazuyo-buna@r.river.sannet.ne.jp

HP <https://aquafoal39.sakura.ne.jp>